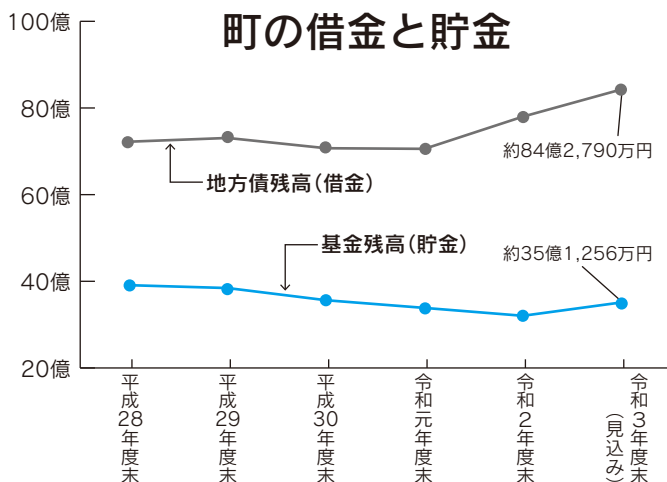


1 POINT 町の財政状況は？



令和3年度は、コロナ禍に対応するために引き続き様々な事業を実施したことに加えて、社会保障関連費が増えたこと及び新庁舎建設工事費などにより支出の多い年度となりました。新庁舎は防災拠点の役割もあり、今後に繋がる施策の一つです。今後は、財政安定のために計画的な事業実施が求められます。

2 POINT 過去最大級予算で笑顔の町へ



本年度は、過去最大級の予算規模となりました。その要因は、コロナ禍のワクチン接種費や社会保障費の増加、新庁舎建設費にあります。加えて、令和4年度は、町民の命を守る施策として河川の工事や井堰の統合が推進されます。広川町は、健康診断の受診率は高いが、健康寿命はそれほど高くありません。そのため、健康寿命延伸のため運動推進策も実施されます。デジタル社会に対応した施策も今後増えます。広川町の公式LINEの活用や広川中学校が職場体験を通じて町内企業の情報発信や公民館事業のオンライン化など新しい試みも行なわれます。公共施設の長寿命化計画などを策定し将来の財政負担の軽減も図られます。

3 POINT 新庁舎9月供用開始



屋上から広川町が360°眺望できます。

新庁舎の完成が間近です。供用開始は9月26日の予定です。新庁舎は、災害に強いまちづくりのために多目的スペースなど災害時に活用できるスペースを設け、防災拠点として使いやすいつくりになっています。また、待合フロアの左右に各課窓口が配置され、住民の利便性も高くなっています。4階の議場についても多目的な利用ができるようになっていきます。ぜひ、展望デッキから広川町を眺めに来てください。